

# 平成28年度 松戸市社会教育計画年度報告書

松戸市社会教育計画は、すべての市民の学びを保障し、松戸市の将来像や市民が潤いのある生活をするために、社会教育行政が果たす役割と方向性を示す計画です。

本計画では、「市民一人ひとりが、いつでも どこでも 必要に応じた学習活動を積極的に行うことができ、その学習の成果を自らの人生や地域社会の活性化に生かすことのできる」という基本理念を実現していくために4つの基本目標を掲げ、基本目標ごとに施策を設けて事業を推進しております。

この年度報告書は、各施策に対する事業の成果を定性評価として、「現状」と「課題」の2つの項目で点検、評価を行い、最後に「総合評価」として、「事業の進捗や成果が適切で目標実現に寄与しているか」との視点から、各所属において、

「A：施策の目標どおり推進できた」

「B：施策について概ね順調に推進している」

「C：施策について進捗は遅れている又は未実施」

の三段階で自己評価を行いました。



## 基本目標 1

➤ 市民の多様なニーズに応え、地域の課題や歴史・文化・伝統に気付く学習機会の充実

施 策	
(1) 地域の特色の活用や課題解決に資する学習機会の提供と専門的職員の資質向上・適切な配置	
現状及び課題	事業・担当課
<p><b>現 状</b></p> <p>学習活動のきっかけづくりからその発展、学習成果の地域活動等への還元までを見据え、多様化する学習ニーズに合わせたテーマを提案する。市民の学習意欲は高く、自主的に地域課題や地域研究をテーマにグループを結成し、地域に根ざした質の高い学習内容を展開するなど、郷土へ興味関心を持つ市民が増えてきている。</p> <p><b>課 題</b></p> <p>市民の潜在的ニーズを掘り起こして学びの場を提供できる職員の養成。また、地域に関心を持つ市民の増加により市民学習グループが増え、その活動支援としての連携講座にかかわる職員の負担は増えており、生涯学習推進課主催の成人講座等の開催に支障が出ている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習機会提供事業 (各種講座開催) <b>生涯学習推進課</b></li> <li>社会教育活動支援事業 <b>生涯学習推進課</b></li> </ul>
担当課による定性的評価	3段階評価 A
<p><b>現 状</b></p> <p>経験のある司書が少なく、知識・経験の蓄積がサービスの水準を左右する職場としては影響が大きい。司書の割合が県内で最低の水準である。</p> <p><b>課 題</b></p> <p>計画的な司書の確保や適正配置、人材育成が急務である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館管理運営事業 <b>図書館</b></li> </ul>
担当課による定性的評価	3段階評価 C

## 現 状

- ① 専門的職員の資質向上については、派遣研修計画に基づき各課に研修予算の配分を行い、一定の研修機会は確保できている。  
(教育企画課：評価 B)
- ② 地域の特色の活用や課題解決に資する学習機会の提供と専門的職員の資質向上及び適切な配置に向け、国立教育政策研究所社会教育実践研究センターが主催する「社会教育主事講習」の講師として職員1名を派遣した。文化財については、市内文化財への市民の学習ニーズに対応するために、文化財マップの作成・配布、史跡めぐり講座などを行っている。そのため、文化財担当学芸員だけでなく、事務職員も専門的知識の修得が必要であり、千葉県北西部地区文化財担当者連絡協議会などの研修会や研究会に出席した。(社会教育課：評価 B)
- ③ 市民の多様化するニーズに合わせて社会教育主事が主導となり、講座の企画・開催、市民自主企画講座の活動支援を実施。  
(生涯学習推進課：評価 A)
- ④ 平成28年度に学芸員を1名採用した。平成29年度に退職教員を非常勤職員として雇用予定。(戸定歴史館：評価 A)
- ⑤ 学芸員の人数は最大9名から7名(歴史学分野3、考古学分野2、民俗学分野2)に減少したが、県内の他の博物館と比べると充実している。(博物館：評価 B)

## 課 題

- ① 専門的職員の配置に関しては、今後の社会教育行政における市民の学習・参画活動を充実するために適切な、配置人数、任用形態などを十分に検討する必要がある。また、今後5年程度の間学芸委員が定年となることから、人材の確保及び育成が課題となっている。(教育企画課)
- ② 市町村における社会教育主事の配置率は全国的に低下傾向であることから、事務職員が「社会教育主事講習」を受講していくことが必要である。文化財についても、対象となる時代や地域が広範囲にわたることから、学芸員だけでなく職員にも幅広い学習が必要となっている。(社会教育課)
- ③ 社会教育主事としての資質向上を図るために、研修機会の拡充と資格取得のために研修・講習への参加を継続。  
(生涯学習推進課)
- ④ 学芸職の職員は事務職員を兼務した採用のため、専門領域に比重を置きつつも専従することは困難である。平成29年度採用予定の退職教員(非常勤採用)による市内小中学校への広報活動及び資料提供が望まれる。(戸定歴史館)

・社会教育専門的職員の資質向上・適切な配置

(担当課共通)

教育企画課

社会教育課

生涯学習推進課

図書館

戸定歴史館

博物館

⑤ 今後数年間の間に現任の学芸員が定年を迎えることになるため、学芸員の計画的な配置と人材の育成が課題となる。(博物館)		
担当課による定性的評価	3段階評価	—
<b>施 策</b>		
(2) 勤労者や学生などのライフスタイルに対応した学習機会の提供		
現状及び課題		事業・担当課
<p><b>現 状</b></p> <p>幅広い年齢層の人々や在職中の方など、学習ニーズとともに多様化するライフスタイルにあわせて夜間や週末に講座を開催するが、全ての要望に応えることは非常に困難であり、講座設定が厳しい。</p> <p><b>課 題</b></p> <p>学生や青年層など、若い世代が興味関心を持つ学習テーマの設定や、講座に参加しやすい日時設定などが求められている。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 学習機会提供事業 (基礎学力再履修講座)</li> <li style="text-align: center;"><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">生涯学習推進課</span></li> <li>• 学習機会提供事業 (各種講座開催)</li> <li style="text-align: center;"><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">生涯学習推進課</span></li> </ul>
担当課による定性的評価	3段階評価	A
<b>施 策</b>		
(3) 障がい者や高齢者、介護中、育児中など学習に参加しにくい人への支援		
現状及び課題		事業・担当課
<p><b>現 状</b></p> <p>宅配や施設巡回など、図書館のアウトリーチサービスは一定の評価がある。</p> <p><b>課 題</b></p> <p>施設巡回の要望が年々増加しており、現在の人員では対応が難しい。視覚障害者に対する支援活動を行っているボランティア団体との協議内容は概ね整理されたが、障害者サービスを体系的に再構築し具体的な運用ルールや要綱などの整備が課題である。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 図書館管理運営事 (身体障害者図書貸出等)</li> <li style="text-align: center;"><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">図書館</span></li> </ul>
担当課による定性的評価	3段階評価	B

<b>現 状</b>	<p>特別支援学級を卒業した人を対象に青年学級を開催し、講座を通して自立促進、余暇活動の充実、仲間づくりを支援し、社会的連帯感を高めていく機会と場を提供している。</p> <p>まつど生涯学習大学において、前年度受講生で構成される提案委員会により当年度の学習テーマが提案され講座として開催されるため、おおむね同年代者の直近のニーズを把握した上で講座展開ができています。</p> <p>家庭教育学級や幼児教育講演会を開催する際には、一時保育を実施し、育児中の人々が受講しやすいよう工夫をするほか、孤立した環境の中で子育てをしている市民や共働き等で育児に参加する時間の少ない保護者たちに、子育てに関する情報等を提供している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年活動支援事業 生涯学習推進課</li> <li>・学習機会提供事業 (各種講座開催) 生涯学習推進課</li> <li>・家庭教育力向上事業 (子育て学習開催) 生涯学習推進課</li> </ul>
<b>課 題</b>	<p>青年学級は、新たな参加者が少なく、参加者の固定化がみられる。世代間交流が図れるよう、より多くの市民に参加してもらうための働きかけ、情報発信の工夫が求められる。</p> <p>まつど生涯学習大学では、直近のニーズに沿ったテーマの講座提供ではあるが、講座テーマの固定化もみられる。</p>	
担当課による定性的評価	3段階評価 A	
<b>施 策</b>		
(4) 松戸の歴史・文化・伝統を学習する活動の推進		
現状及び課題	事業・担当課	
<b>現 状</b>	<p>松戸の歴史、文化、伝統を学習する活動の学習資料として、文化財マップの作成・配布、埋蔵文化財調査報告書の刊行、史跡めぐり講座を実施している。さらに、文化財の保護啓発活動のため、松戸市ホームページへの掲載や雑誌掲載の記事提供などを行っている。</p> <p>また、美術品等の収集、保存、公開については、森のホール21 エントランスホールにおいて「松戸の作家の個展」を4回実施し、松戸市在住在勤美術作家に作品発表の場を提供するとともに、情報を発信して市民の文化芸術活動の振興を支援した。</p> <p>戸定歴史館において「一明治21年の佐竹永湖とその周辺—松戸神社神楽殿の絵画と修復展」を開催し、松戸神社に伝わる明治期の絵画をその保存修復事業とともに紹介した(1月21日～3月5日)。企画展開催前には、市内の中学校・高校11校を対象に、杉戸絵模写</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財保護事業 社会教育課</li> <li>・美術文化関係事業 社会教育課</li> </ul>

<p>品を制作する出前講座を実施し（264 人受講）、作品は市民ギャラリーに展示した。また、企画展関連イベントとして、ワークショップ「杉板に絵を描いてみよう～日本画～」を2回実施した（32 人参加）。</p> <p><b>課題</b></p> <p>文化財に関して、個人から団体の学習において、幅広く、また専門的な相談への対応が必要になっているので、職員のさらなる知識修得が課題である。また、美術品の公開については、松戸の歴史・文化・伝統に根ざした収蔵品を常設展示できる施設がないため、市民が学習できる機会が少ない。「松戸の作家の個展」を含め、多様なジャンルの美術品を安全に展示できる施設に限られており、いかにして施設を確保していくかが課題である。</p>		
<p>担当課による定性的評価</p>	<p>3段階評価 B</p>	
<p><b>現状</b></p> <p>市内小学校の団体見学の受入れを行っている。市内中学校の職場体験で歴史館・戸定邸の実務を体験させている。</p> <p><b>課題</b></p> <p>市内の小中学校への認知度をいっそう高め教育に資するための広報業務、受入れ実績の向上が必要である。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・戸定歴史館管理運営事業</li> <li>戸定歴史館</li> </ul>
<p>担当課による定性的評価</p>	<p>3段階評価 A</p>	
<p><b>現状</b></p> <p>総合展示・主題展示・映像展示・野外展示で構成される展示事業については一定の評価がある一方で、博物館資料に関する情報のデジタル化やデジタルメディアによる公開事業は他の博物館に比べて遅れている。</p> <p><b>課題</b></p> <p>館蔵資料の整理作業や目録化作業等、博物館活動の基礎となる事業に人的資源を投入し、博物館資料の情報を公開する方策の検討が必要である。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館展示事業</li> <li>博物館</li> <li>・博物館学習支援事業</li> <li>博物館</li> <li>・博物館歴史資産収集調査事業</li> <li>博物館</li> <li>・市史編さん事業</li> <li>博物館</li> </ul>
<p>担当課による定性的評価</p>	<p>3段階評価 B</p>	
<p><b>現状</b></p> <p>地域文化の発展のため、郷土の歴史や文化を伝える資料を収集・保存することは図書館の重要な役割であり、松戸市だけでなく千葉県や県内の郷土資料も取り揃えている。</p> <p><b>課題</b></p> <p>絶対的な蔵書量も少なく、体系的な整理や蔵書の構築がされていない、また、収集方針や収集方法、市民への提供方法など改善が必要である。地域特性に応じた分館の郷土資料の整理も課題である。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館管理運営事業</li> <li>(郷土資料提供)</li> <li>図書館</li> </ul>
<p>担当課による定性的評価</p>	<p>3段階評価 B</p>	

施 策	
(5) 人間としての尊厳を大切にした多文化共生の学習機会の提供	
現況及び課題	事業・担当課
<p><b>現 状</b></p> <p>学習機会の提供のうち、人権をテーマとした内容を取り上げ、人間の尊厳を考える人権学習講座を開催している。開催日時等の関係から、参加年齢層の固定化がみられる。</p> <p>青少年会館では、国際交流事業として諸外国の生活や文化・風習に触れることができる青少年教室を開催しており、参加した多くの子ども達に好評を得ている。</p> <p><b>課 題</b></p> <p>幅広い年齢層の市民に、興味・関心を持ち講座に参加してもらうために、さらなるPRと開催日時の工夫が必要とされる。</p> <p>2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、様々な国の生活や文化に触れられる学習内容にするなど、さらなる充実が求められる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 人権学習の推進 生涯学習推進課</li> <li>• 青少年会館学習機会提供事業 生涯学習推進課</li> <li>• おもてなしボランティア養成事業 生涯学習推進課</li> </ul>
担当課による定性的評価	3段階評価 A
施 策	
(6) 市内各大学や民間団体などと連携した学習機会の提供	
現況及び課題	事業・担当課
<p><b>現 状</b></p> <p>① 文化財保護啓発活動や文化財調査時などに、市内ほか各大学と連携し、その成果を報告書などに掲載し、平成 28 年度は 3 冊刊行している。(社会教育課：評価 B)</p> <p>② 地元大学と連携することで、現代社会の様々な課題を取り扱い、専門性の高い内容の講座を開催でき、市民には概ね好評である。また、各大学の施設を会場とすることで、より多くの市民が参加できている。(生涯学習推進課：A)</p> <p><b>課 題</b></p> <p>① さらなる内容の充実を志向していくことが課題である。(社会教育課)</p> <p>② 募集人員を増やしたことにより、より一層のPRが必要である。(生涯学習推進課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 学習機会提供 (各種講座開催) 生涯学習推進課</li> <li>• 地元の大学との連携方策の検討 社会教育課 生涯学習推進課</li> </ul>
担当課による定性的評価	3段階評価 ー



## 基本目標2

### ➤ 市民を惹き付け、広く行き渡る情報提供・相談

施 策	
(1) 情報の周知、情報を得る方策への配慮	
現状及び課題	事業・担当課
<p><b>現 状</b></p> <p>① 「一明治21年の佐竹永湖とその周辺―松戸神社神楽殿の絵画と修復展」のお知らせを松戸市ホームページや広報まつど等に掲出し、周知を図った。併せて、駅貼りポスター、電車内窓上広告及びデジタルサイネージ等各広報媒体により広報活動を実施した。 「松戸の作家の個展」のお知らせを松戸市ホームページや広報まつど等に掲出し、周知を図った。併せて、会期毎にリーフレットを作成し、市内外関係機関等へ配布した。(社会教育課：評価 B)</p> <p>② 市のホームページ、広報紙をはじめとして、ツイッターなどSNSを活用し、また、パンフレット、チラシを作成、各施設に掲示することで幅広い年代への広報活動に努めている。(生涯学習推進課：評価 A)</p> <p>③ TV等、マスコミ業界へ積極的に働きかけ、館長が出演する等して広報活動を行っている。(戸定歴史館：評価 A)</p> <p>④ ポスターの掲示・ちらしの配布を行うほか、博物館HP、広報まつど、市のデジタルサイネージとJR東日本のデジタルサイネージを利用した情報提供、マスコミとミニコミ誌等への情報提供を幅広く行っている。(博物館：評価 B)</p> <p>⑤ 毎月「広報まつど」にホール行事予定表とプラネタリウム番組案内・特別番組及び観望会の記事を掲載している。市民が楽しめる記事を工夫して掲載しているので、好評である。ホームページも随時更新している。(市民会館：評価 A)</p> <p><b>課 題</b></p> <p>① 作家の個展のリーフレット作成から配布まで時間を要するため、より早く配布できるようにすることが課題である。(社会教育課)</p> <p>② 限られた媒体をよりよく活用し広報活動を推進することで、講座参加者の増加や施設利用者の増加等、数値的結果に結び付けていきたい。(生涯学習推進課)</p> <p>③ 今後、齊藤館長の退職後に広報活動の質・量を維持することは困難である。(戸定歴史館)</p>	<p>・広報活動の推進 (担当課共通)</p> <p>社会教育課</p> <p>生涯学習推進課</p> <p>図書館</p> <p>戸定歴史館</p> <p>博物館</p> <p>市民会館</p>

<p>④ SNS等のデジタルメディアの活用が弱いので、デジタル環境での広報戦略について研究する必要がある。(博物館)</p> <p>⑤ 他のメディアの活用を研究すること。(市民会館)</p>		
担当課による定性的評価	3段階評価	—
<p><b>現状</b></p> <p>まつどまなびいネットを活用する団体の増加により、具体的に団体への興味・関心をもつ市民や、閲覧者が増えてきている。</p> <p><b>課題</b></p> <p>まつどまなびいネット利用団体の固定化が見られるため、社会教育関係団体の情報発信格差がみられる。</p>		<p>•まつどまなびいネット</p> <p>生涯学習推進課</p>
担当課による定性的評価	3段階評価	B
<p><b>現状</b></p> <p>市の各部署が発行したチラシ、パンフレットやリーフレット、また各種団体が発行する啓発資料など、図書資料に限らず市民に広く情報提供を行っている。</p> <p><b>課題</b></p> <p>市民が抱える課題に対して適切にタイムリーな情報を提供するため、各関係機関との連携を密にして、情報提供の充実を図ることが課題である。</p>		<p>•図書館管理運営事業</p> <p>図書館</p>
担当課による定性的評価	3段階評価	B
<p><b>現状</b></p> <p>博物館の年間スケジュールを一覧できる『年間行事案内』や展覧会ポスター・ちらしを作成して、市内外の学校その他の機関、鉄道会社の駅等に掲示・配布したり、マスコミに情報提供を行っている。また、学習支援専門員と協働して、出前授業等の博学連携プログラムを強化している。</p> <p><b>課題</b></p> <p>子どもを対象にしたプログラムの周知方法について、学校を経由する以外の手法を研究する必要がある。</p>		<p>•行事内容に即した対象者への情報発信の強化</p> <p>博物館</p>
担当課による定性的評価	3段階評価	A

## 現 状

- ① 後援承認した行事のポスター掲出申請があった場合、市民センターや社会教育施設に掲出を依頼し、当該行事の周知に努めた。  
(教育企画課：評価 C)
- ② 社会教育に関する情報が各市民に行き渡るよう、松戸市民に対する学習機会の提供と認めたイベント等について、後援を行うとともに、そのイベント等を広く市民に情報が行き渡るよう、社会教育施設等にポスターを掲示した。(社会教育課：評価 B)
- ③ 後援承認された行事のポスター掲示については、公民館や文化ホール、青少年会館の他、各市民センター、社会教育施設に掲示を依頼し、希望があれば広報紙に掲載するなど、各行事の周知に努めた。  
(生涯学習推進課：評価 A)
- ④ 広報、HP、雑誌媒体、鉄道駅でのデジタルサイネージ等で展览会、催事の告知を行っている。(戸定歴史館：評価 A)
- ⑤ ポスターは新京成電鉄・新京成バス車内の掲示、新京成電鉄・流鉄・北総鉄道各駅での掲示を行うほか、支所・市民センター等の出先機関、市内小中高等学校・大学、県内外の博物館施設等に掲示を依頼している。(博物館：評価 A)
- ⑥ ポスター掲示板が、ホール棟5枚・会議棟15枚に常時、市民会館・市民劇場・森のホールのイベントポスターを掲示し、市民に文化・芸術活動のご案内をしました。(市民会館：評価 A)

## 課 題

- ① 各課においてポスター申請の事務の流れが統一されておらず、市民にとって混乱を招きやすい状況にある。教育委員会から学校へのポスター・チラシ配布について共通の方法が定まったのち、ただちに後援に係るポスター申請業務も整備する。(教育企画課)
- ② ポスター掲示については、各施設に掲示を依頼しているが、市民にどの程度情報が行き渡っているかの把握ができないことが、課題である。(社会教育課)
- ③ 当課では後援の承認通知を送付する際、ポスター掲出申請についても案内している。しかし、行事開催日が直近のポスター掲出の場合周知が十分に取れない。(生涯学習推進課)
- ④ HPの内容拡充とWEB媒体での広報活動の促進が望まれる。  
(戸定歴史館)
- ⑤ 可能な限りの場所に掲示しているが、その効果については測定が難しい。(博物館)

・行事開催に伴うポ

スター掲示

(担当課共通)

教育企画課

社会教育課

生涯学習推進課

図書館

戸定歴史館

博物館

市民会館

<p>⑥ 市民会館の利用者が対象で、興味のあるイベント情報を周知できているのか、押し量ることが困難である。他のホール・文化施設のポスターもあわせて掲示しているので、選択肢は幅広い。(市民会館)</p>		
担当課による定性的評価	3段階評価	—
<b>施 策</b>		
(2) ICTを活用した情報提供促進		
現状及び課題		事業・担当課
<p><b>現 状</b> まつどまなびいネットは手軽に情報更新ができることから、最新の情報を提供しやすい反面、パソコン操作に慣れていない市民への対応が難しい。</p> <p><b>課 題</b> パソコンやスマートフォン等操作に長けている市民へは、より利用しやすい情報発信の場としての機能向上や、操作に不慣れな市民に対するまつどまなびいネットの利用講習会の開催等が求められている。</p>		<p>•まつどまなびいネット</p> <p><b>生涯学習推進課</b></p>
担当課による定性的評価	3段階評価	B
<p><b>現 状</b> 図書館のホームページやSNSを活用して情報提供手段の多様化を図っている。Facebookの閲覧は一定数はあるが伸び悩んでいる。</p> <p><b>課 題</b> 市民に図書館に興味関心を持っていただくよう、情報更新の頻度を高めるとともに、様々なメディアを活用し、情報提供の機会を増やすことが課題である。</p>		<p>•図書館管理運営事業</p> <p><b>図書館</b></p>
担当課による定性的評価	3段階評価	B
<p><b>現 状</b> 松戸市教育委員会所蔵美術作品等に関する情報を、いつでもどこでも見られるようにするため、松戸市ホームページ上に「松戸市デジタル美術館」を設け情報提供している。</p> <p><b>課 題</b> コンテンツを増やし、より見やすく分かりやすく、情報提供をしていくことが課題である。</p>		<p>•デジタル美術館</p> <p><b>社会教育課</b></p>
担当課による定性的評価	3段階評価	A

施 策	
(3) 学習相談体制の充実	
<b>現状及び課題</b> <b>現 状</b> ① 文化財については、個人的な学習支援、市民からの依頼による出前講座、教員等から文化財に関わる授業の相談など実施している。集団での学習時では、講師を務め、学習を深める相談を受けるなどしている。(社会教育課：評価 B) ② 各相談者の学習ニーズを把握し、主催する各種講座やニーズに沿うその他社会教育関係団体の情報等、紹介をしている。(生涯学習推進課：B) ③ 中高年層の団体見学の依頼が多く見られる。(戸定歴史館：A) ④ 電話や直接来館による市民の問い合わせには学芸員が直接回答し、常設展示室では解説員が観覧者の関心に合わせた解説を随時行うほか、学習支援専門員による学習相談会を実施している。また、展覧会開催時には学芸員による展示解説会を開催するなど、一定の評価を得ている。(博物館：A)	<b>事業・担当課</b> ・社会教育活動に資する学習支援体制の充実 (担当課共通) 社会教育課 生涯学習推進課 図書館 戸定歴史館 博物館
<b>課 題</b> ① 文化財は、対象となる時代や地域が広範囲にわたることから、職員は、幅広く専門的な相談への対応が必要になっている。(社会教育課) ② 生涯学習活動全般について十分な知識と経験を輸した職員を安定的に配置していくことが必要となっている。(生涯学習推進課) ③ 若年層への働きかけ、隣接する千葉大学園芸学部との連携強化が必要と考える。(戸定歴史館) ④ 学校教育との博学連携を順次進めており、その効果判定を行いつつ新たな手法を研究する必要がある。(博物館)	
担当課による定性的評価	3段階評価 ー
<b>現 状</b> 専門職としての経験が不足している職員が多く、ノウハウが蓄積されていない。	
<b>課 題</b> 人材育成や専門職の適正配置を進めるとともに、過去のレファレンス記録を体系的に整理することや、パスファインダーの整備など利用者への案内を強化することが課題である。	
担当課による定性的評価	3段階評価 C

<p><b>現 状</b>  社会教育指導員を配置し、重要課題である家庭教育力の向上についての指導および学習相談に応じると共に、教員としての経験・知識を活かした親身な対応をしている。</p> <p><b>課 題</b>  社会教育指導員が配置されていることをより多くの市民に周知する必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 社会教育推進  (社会教育指導員関係)</li> </ul> <p><b>生涯学習推進課</b></p>
<p>担当課による定性的評価</p>	<p>3段階評価 A</p>

## 基本目標3

### ➤ 学習者の学習成果を地域に生かす仕組みづくり

施 策	
(1) 地域の人材を発掘・育成し、活動を支援するシステムづくり	
現状及び課題	事業・担当課
<p><b>現 状</b></p> <p>① 市民が自ら学んだ場の成果発表として、講座修了生による新たな学習グループの立ち上げを支援し、連携して講座を開催している。新会員の獲得、勉強成果の地域還元等、団体によってやや活動頻度や熱量に差が見受けられる。(生涯学習推進課：評価 B)</p> <p>② 学習相談については、地域で活動している社会教育関係団体を紹介したり、出前講座を行っている。(社会教育課：評価B)</p> <p><b>課 題</b></p> <p>① 地域活動に積極的にかかわる、リーダー格の人材発掘と育成。市の支援を不要とし、団体独自で講座企画、運営、地域活性化を推進する要となるような団体育成が必要。(生涯学習推進課)</p> <p>② 職員には幅広い学習の知識が必要となっている。(社会教育課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習機会提供 (自主企画活動支援) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">生涯学習推進課</span></li> <li>・市民文化活動支援事業 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">生涯学習推進課</span></li> <li>・まちづくり人材育成支援事業 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">生涯学習推進課</span></li> <li>・(仮称)社会教育実践研究発表・交流事業 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社会教育課</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">生涯学習推進課</span></li> </ul>
担当課による定性的評価	3段階評価 一
<p><b>現 状</b></p> <p>読み聞かせボランティアについては、図書館が育成した多くの団体が地域で活動している。</p> <p><b>課 題</b></p> <p>ボランティア団体自らがネットワークを構築し、活動を広げられるよう自立を促すことが課題である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児・児童の読書普及事業 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">図書館</span></li> </ul>
担当課による定性的評価	3段階評価 A
<p><b>現 状</b></p> <p>松戸市民の市民文化の振興に資する事業を行うとともに、市民文化の創造に寄与することを目的として設立された公益財団法人松戸市文化振興財団に、運営費補助等の活動を支援している。</p> <p><b>課 題</b></p> <p>補助金を支出するだけでなく市民に多くの舞台芸術鑑賞の機会が提供できるよう提案をしていく等、文化振興財団との連携が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化振興財団運営費補助 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社会教育課</span></li> </ul>
担当課による定性的評価	3段階評価 A

施 策	
(2) 施設の整備及び施設連携や施設機能の活用方法の周知などによる利用促進	
現状及び課題	事業・担当課
<p><b>現 状</b></p> <p>施設の老朽化や、利用団体増加により施設予約困難なども見受けられたが、大規模修繕が困難なことから迅速な応急的修繕の実施や、貸出方法の見直しにより利便性の改善につながった。</p> <p>社会教育関係団体をはじめとした市民の主体的な学習活動や仲間づくりの場として施設を提供しているが、利用者相互の交流が減りつつある。</p> <p><b>課 題</b></p> <p>青少年の居場所として、個人学習では得にくい仲間づくりや地域の人たちと触れ合うことができる教育機能を発揮した時間と場所を提供していくことが課題である。</p> <p>また、利用者に配慮した施設維持管理が必要不可欠である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・矢切公民館管理運営事業 生涯学習推進課</li> <li>・タウンスクール管理運営事業 生涯学習推進課</li> <li>・青少年会館管理運営事業 生涯学習推進課</li> <li>・文化ホール管理運営事業 生涯学習推進課</li> <li>・シティー・ミニコンサート開催事業 生涯学習推進課</li> <li>・地域の居場所づくり促進事業 生涯学習推進課</li> </ul>
担当課による定性的評価	3段階評価 B
<p><b>現 状</b></p> <p>施設の老朽化と狭隘化などの物理的な制約条件により十分な図書館機能が発揮できない。</p> <p><b>課 題</b></p> <p>今後の図書館整備について、中央館、地域館、分館における図書館機能のネットワークの見直しを図り、各館の役割や位置づけを再構築することが課題である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館管理運営事業 図書館</li> </ul>
担当課による定性的評価	3段階評価 C



<p><b>現 状</b> 計画的に修繕や工事を行うことにより、常に市民に良好な状態で施設が提供できるように努めている。また、社会教育施設の設備と機能の充実として、図書館機能を中核とする市民の学びを支援する複合施設の整備について、関係各課と情報交換を行っているところである。</p> <p><b>課 題</b> 大規模改修を実施するための事業費の確保や実施時期の見極めを行う必要がある。複合施設の整備については、街づくり部との連携や情報収集をする必要がある。</p>	<p>担当課による定性的評価</p> <p>3段階評価 A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民劇場管理運営事業 社会教育課</li> <li>文化会館管理運営事業 社会教育課</li> <li>生涯学習センター計画事業 社会教育課</li> </ul>
<p><b>現 状</b> 利用者の安全確保のための市民会館ホール天井改修工事に伴う設計委託を実施した。また、設備の老朽化に伴い、出演者の満足度を高めるために舞台照明操作卓修繕及び舞台音響調整卓修繕など緊急修繕を実施した。</p> <p><b>課 題</b> 竣工後、52年が経過し、今後計画的な修繕が望まれる。修繕の時期については、他のホールと連携して、工事が重なって、利用者に不便を来たさないようにする必要がある。</p>	<p>担当課による定性的評価</p> <p>3段階評価 B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民会館管理運営事業 市民会館</li> </ul>
<p><b>現 状</b> 松戸茶道会をはじめとした茶道団体や、句会等の伝統文化に関する催事を主催する団体に有料で貸出している。</p> <p><b>課 題</b> コスプレ等、個人利用の申請が増加しているため、現状に即したルール作りの作成と情報を関係部署で共有することが必要。</p>	<p>担当課による定性的評価</p> <p>3段階評価 A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>松雲亭管理運営事業 戸定歴史館</li> </ul>
<p><b>現 状</b> 開館後24年が経過して展示内容がそのままの状態であり、また機器類の更新が進まずにいる。</p> <p><b>課 題</b> 常設展示に関しては、時代に応じたリニューアルに取り組む必要がある。また、21世紀の森と広場地域の利用者増をめざして、文化会館・公園管理事務所との事業連携を推進する必要がある。</p>	<p>担当課による定性的評価</p> <p>3段階評価 C</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>博物館管理運営事業 博物館</li> </ul>

施 策	
(3) 学習意欲を喚起し、自己実現を実感できるステージへの誘導	
現状及び課題	事業・担当課
<p><b>現 状</b></p> <p>市民が自ら学び継続して活動する学習グループの成果発表の場として市民自主企画講座の開催や、地域研究の成果品を製作するふるさと発見創造講座など、講座受講を通してその後も社会貢献活動に積極的に取り組む人が増えてきている。</p> <p><b>課 題</b></p> <p>学習グループの自立を促し主体的に活動させることや、ともに学ぶボランティア活動促進につなげることが課題である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 学習機会提供 (各種講座開催) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">生涯学習推進課</span></li> <li>• 学習機会提供 (自主企画活動支援) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">生涯学習推進課</span></li> </ul>
担当課による定性的評価	3段階評価 A
<p><b>現 状</b></p> <p>社会教育関係団体である「博物館友の会」に学習の場と機会を提供し、協働で講座・講演会や体験教室等のイベントを実施してきたことには一定の評価を得ているが、会員数が漸減傾向にあるほか、大学生・高校生の利用はやや少ないのが現状である。</p> <p><b>課 題</b></p> <p>友の会との協働事業をこれまで以上に活発化するとともに、生涯学習推進課、市内の大学・NPO等の機関との協働事業を企画・推進することが必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 博物館友の会支援・協働事業 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">博物館</span></li> </ul>
担当課による定性的評価	3段階評価 B
<p><b>現 状</b></p> <p>参画型学習機会の提供事業において、成人式については、松戸の地域や四季を通じた「記念映像」の上映や、今までの人生でお世話になった人への感謝をテーマにした「新成人の主張」、式典中のイベントなど、新成人自らが企画運営した内容で成人式を実施している。</p> <p>地域の美術振興支援では、松戸市在住在勤美術作家に作品発表の場を提供するとともに、情報を発信して市民の文化芸術活動の振興を支援するため、森のホール21 エントランスホールに設営したアートスペースにおいて「松戸の作家の個展」を開催した。</p> <p><b>課 題</b></p> <p>成人式については、新成人が考えるイベント内容に、どのようにして市の意向を組み込んでいくかが課題である。また、松戸の作家の個展に関しては、出品作品が平面に限られることや、監視がつかないため、盗難等のリスクの恐れがあることへの対応が課題である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 成人式開催事業 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社会教育課</span></li> <li>• 美術文化関係 (地域美術振興支援) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社会教育課</span></li> </ul>
担当課による定性的評価	3段階評価 A

## 基本目標4

### ➤ 地域、学校、家庭が連携した青少年の学びの充実

施 策	
(1) 家庭教育の充実	
現状及び課題	事業・担当課
<p><b>現 状</b></p> <p>幼児、小中学生の保護者を対象に、子どもの発達段階に応じた家庭教育学級を開催している。小学校家庭教育学級は全ての市立小学校で開設し、実情に即した学習会を自主的、集团的、継続的に開催しており、それら学習会の支援をおこなっている。また、幼児、中学生の保護者を対象とした家庭教育学級連続講座を企画、開催し、学習機会の提供及び参加者の孤立感解消に努めている。さらに、親子でふれ合いを楽しめる講座も開催している。</p> <p>乳幼児期の家庭教育のあり方について研究・検討し、松戸市版幼児教育啓発パンフレットを作成し配布するほか、パンフレットのPR動画を作成し、家庭教育力向上の啓発、推進に努めている。</p> <p><b>課 題</b></p> <p>市長部局等との連携を図ること。家庭教育についての講演会が開催されていない地域においての開催及び推進を進めていくことが課題である</p>	<p>・家庭教育力向上事業</p> <p>生涯学習推進課</p>
担当課による定性的評価	3段階評価 A
施 策	
(2) 地域、学校、家庭の連携事業の促進	
現状及び課題	事業・担当課
<p><b>現 状</b></p> <p>① 現在、小金北中学校区（小金北中・小金北小・殿平賀小）と牧野原中学校区（牧野原中学校・松飛台小学校）において、それぞれ「体験活動」と「学習支援」を中心に活動が行われている。（教育企画課：評価 B）</p> <p>② 学校教育と連携し、市内小中学校教材「のびゆく松戸市」、「われらの松戸」に市内文化財等を紹介している。また、学校からの夏休みの宿題や、地域課題研究の相談について、支援をおこなっている。（社会教育課：評価 B）</p> <p>③ 現在小金北中学校区と牧の原中学校区において、それぞれ「体験活動」と「学習支援」を中心に活動がおこなわれている。市内の学校内で活動情報の共有を図るべく、学区ごとの活動情報誌を発行する</p>	<p>・学校を核にした地域コミュニティづくり事業</p> <p>教育企画課</p> <p>社会教育課</p> <p>生涯学習推進課</p>

<p>とともに、ホームページ等各学校が情報を発信できる環境を整備している。(生涯学習推進課：評価 B)</p> <p><b>課 題</b></p> <p>① 学校と地域の調整役として中心的な役割を果たすコーディネーター等の人材確保が課題として挙げられる。</p> <p>また、さらに「学校支援活動」の幅を広げていくためには、他校の取り組みも参考にすることが必要であると考えられるため、学校ホームページの充実など各学校が自校の活動を内外に発信できる環境を整えることも課題である。(教育企画課)</p> <p>② 学校等からのニーズに応えられるよう、研修等に積極的に参加、知識を習得し、教材等も分かりやすいものを志向していく。(社会教育課)</p> <p>③ 学校と地域の調整役として中心的な役割を果たすコーディネーター等の人材確保が課題である。また、活動をしている地域人材の高齢化も進んでいるため、今後の人材確保が課題である。(生涯学習推進課)</p>		
担当課による定性的評価	3段階評価 ー	
<p><b>現 状</b></p> <p>地域や学校に出向いておはなし会などの活動を行っている。</p> <p><b>課 題</b></p> <p>学校貸出セットや読書ノートを活用し、学校との情報交換や連携を進めているが、公共図書館と学校図書館の合同研修などを活用し、さらに連携を強化するための仕組みづくりが課題である。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児・児童の読書普及事業</li> </ul> <p><b>図書館</b></p>
担当課による定性的評価	3段階評価 B	
<b>施 策</b>		
(3) 多様な学習、体験活動の充実		
<b>現状及び課題</b>		<b>事業・担当課</b>
<p><b>現 状</b></p> <p>集団活動の場、自然体験、勤労体験等、多様な体験の機会を提供し多くの子ども達が参加しているが、地域や家庭の中で活かせる機会が少ないため学習の継続ができない。また部活動等で時間の取れない中高生の参加者が少ない。</p> <p><b>課 題</b></p> <p>地域や家庭の中で活かせる体験講座や親子で参加できる教室の開催、中高生も参加しやすい講座の開催が必要。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 青少年会館学習機会提供事業</li> </ul> <p><b>生涯学習推進課</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 青少年活動支援事業</li> </ul> <p><b>生涯学習推進課</b></p>
担当課による定性的評価	3段階評価 A	

## 施 策

### (4) 青少年活動を支援する指導者養成に向けた学習機会の提供

現状及び課題		事業・担当課
<p><b>現 状</b>            青少年が自発的、主体的に活躍できるよう指導者の養成と指導者相互交流の機会を提供しているが、各団体ともそれぞれに活動しており、なかなか交流の機会を活かすことが難しい。</p> <p><b>課 題</b>            各団体や指導者等の連携を図ることが課題である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 青少年の社会教育活動支援事業</li> <li style="border: 1px solid black; padding: 2px;">生涯学習推進課</li> </ul>	
<p>担当課による定性的評価</p>	<p>3段階評価 B</p>	